



横須賀・三浦放射線技師会報

Vol.35-No.1

JUN.2011

発行元 横須賀・三浦放射線技師会 広報
発行元住所 神奈川県横須賀市米が浜通 1-16



CONTENTS

No. 109

巻頭言	2
平成 22 年度総会開催 (総会概要 / 会長平成 23 年度事業計画案)	3
平成 23 年度役員一覧/庶務報告	4
学術: 第 109 回研究会開催案内/福利厚生: 3 部合同納涼会開催案内	5
新理事自己紹介/新入会員自己紹介	6
投稿: ハネムーン旅行記(うわまち: 原田成崇)	7
投稿: 災害派遣報告(保健所: 井上晴行)	8
編集長の頁	8

巻頭言

会長 服部祐治

6月中旬の梅雨時、鎌倉を彩るあじさい散策の機会に恵まれ、北鎌倉から明月院を通り、源氏山公園、高德院、長谷寺と鎌倉の自然の梅雨路を満喫してきました。

古都とは古くからの都または昔に都がおかれていた場所とされ、京都、奈良、鎌倉に代表されますが、訪れてそれぞれの史跡など目にとると一瞬その時代に戻ったような錯覚にとらわれます。

めまぐるしく変化する現代、懐かしく思うのは今も昔も変わらない姿を持っている街並みや故郷、四季折々に変化する自然、綺麗なものや美しい自然は多くの人々の心を捉えて離さないものがあることは確かです。

鎌倉の古径はさまざまな紫陽花が彩り、古都をより一層際立てて見せてくれます。

雨にぬれるほど綺麗な花をつける紫陽花は、色の变化も楽しく赤、白、ピンクそして紫と眼に入る色彩は、見るものをわずかの時間で悠久の時の中に引き込んでしまう。

私たちが住む今の時代、時間はお金で買えるといわれていますが、便利さは生活のテンポを上げ、一日、一年の時間を短縮し、時々疲労感に襲われる感じがします。

わずかの時間の中にあまりにも急激に変化し、人工物に頼り美しいものの基準が変わってしまったように思える時代ですが、おごってしまった人々に、ときには自然から手痛いしっぺ返しを食い右往左往している人々がいます。

自然を大切に謙虚におごることなく生きていくことが大事と思われまます。

梅雨が明けるともうすぐ暑い夏が来ます。

原発は安全神話に基づき文明の先端を走り、便利さを供給してきたがその神話が崩れ電力の供給がままならない状況となっています。

今年の夏は特に暑い夏になると思われますが、古都は自然を体を感じられ心を涼しくしてくれる貴重な自然遺産であると思います。文明の便利さから少し離れ、四季の自然を体を感じることも大事と思います。

「心頭を滅却すれば火もまた涼し」今年の暑い夏を元気に乗り切りましょう。



平成22年度 横須賀三浦 放射線技師会 総会開催される

先般の震災に関わる様々な影響のため延期されておりました平成22年度横須賀三浦放射線技師会総会を、4月23日(土)、横須賀共済病院の5階講堂において開催しました。総会議事に先立ち、功労賞表彰が行われ、永年救急医療センター役員としての功績に対し平川豊氏が表彰されました。役員含め25名の会員参加がありました。

総会概要

理事会推挙により横浜南共済病院の西條美里氏、横須賀市立うわまち病院の永塚純氏が議長団に就任し総会議事が進行されました。

平成22年度の各部事業報告、会計決算報告、および会計監査報告が行われ、全て承認されました。その後、平成23年度の事業計画と予算案の審議が行われ、これも全て承認されました。

平成23年度の事業計画概要は、総会当日付で入会届が受理された新入会員6名があること(4月23日付会員数148名)、本年度より理事の増員が見込めること、救急センター派遣委託技師メンバーに新規に2名が増えたことなどを受け、さらに震災後の自粛ムードを一掃し、震災復興に協力しようという目標を持って、平成22年度に控えめであった活動を一転、服部会長の号令のもと活発に活動を進めていくこととなりました。会員、賛助会員の皆様には今後も変わらぬご協力をお願いいたします。

総会后引き続き、NASチーム報告会として、先般の東日本大震災の福島第1原発事故発生にともなう日本放射線技師会サーベイヤー派遣隊第1陣として、本会NASチームから3名の精鋭が5日間の災害派遣に参加してきましたので、その報告会を行いました。現地で撮影された写真が多く供覧された報告の中では、本会NASチームの存在意義を証明でき、また日ごろからの活動の成果が大いに発揮出来た、非常に有意義な災害派遣活動であったとの報告でした。

服部会長：平成23年度 事業計画案

平成22年度の本会事業へのご承認をいただきましてありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

冒頭にお話しましたとおり大震災の復興にあたり、自粛ムードを良しとしない風潮が高まっております。平成23年度に関しましては、本会の事業に関しましても、活発化を図りたいと考えております。それによって復興の手助けになればと考えております。

幸い、喜ばしいことに4月1日付で入会された会員も6名いらっしゃいまして、本会の会員数も148名と増えました。これも受けまして、昨年度は理事数縮小の体制でやってまいりましたが、本年度は理事の増員も見込めそうです。

1名欠員でございました副会長、それから理事の増員で、平成22年度を上回る活発な事業を行っていきたいと考えております。

また、横須賀市市議会において救急センターの建て替えが決定いたしました。新しい救急センターの新しい装置の購入も、規模に見合った適正な購入要望書を提示しており、検討いただいているところでございます。

今後の皆様のご協力をお願いして、事業計画案とさせていただきます。

<文責庶務濱田>

平成23年度役員

会員・賛助会員の皆様、よろしくお願いたします。

会 長 服部祐治(自宅)

副会長 羽布津嘉宏(横共)、松村高宏(衣笠)

監 査 二田 勇(横共)、田中耕策(三浦)

庶 務 濱田順爾(横共)、菅原保富(横共)、
兼・松村高宏(衣笠)

会 計 生方昌宏(横共)、前川加奈(横共)、
早川智之(横共)

学 術 村雲俊広(衣笠)、壺川貴子(横共)、
野口奈津希(横共)、加々美充(市民)

福利厚生 小笠原純(南共)、戸高拓朗(湘南)、
中村明彦(うわまち)、福重智也(市民)

広 報 兼・濱田順爾(横共)、安藤悦夫(逗葉)、
久保 隆(三浦)

YMBIT 堀 裕明(横共)

被ばく医療 大石小太郎(横共)、井上晴行(保健)

救急医療 児玉康彦(うわ)、大藤和男(横共)、
宮原新吾(南共)

地区委員 高橋宏之(保健)

相談役 関野政則、加村鐵郎、新倉政和、
千葉 一、柳澤正和 以上(敬称略)

* 松村氏は副会長に就任、庶務兼任とする。

* 横須賀市立市民病院から任期1年で、学術理事に
加々美氏、福利厚生理事に福重氏の2名が新規理
事として就任。

* 学術理事補充により、羽布津副会長の学術理事兼
務が解かれました。

庶務報告

3/31・会員小柳氏(横須賀市保健所)、会員田中珠美
氏(自宅)、会員中井武美氏(自宅)、会員高橋博氏、
会員田中慎一氏(久里浜アルコール症センター)退
会

4/1・木下 翔氏(金沢病院)入会

・横須賀市医師会と救急医療センター業務委託契約締
結

4/2・平成 22 年度横須賀三浦放射線技師会総会延

期開催の案内をメール配信

4/12・平成 22 年度横須賀市救急医療センターへの
本会技師派遣依頼状を郵送(南共済)

・平成 22 年度横須賀三浦放射線技師会総会延期開
催の案内はがきを自宅会員宛郵送

4/23・平成 22 年度横須賀三浦放射線技師会総会を
横須賀共済病院5階講堂にて延期開催。役員含め
25名出席。同総会後懇親会は自粛し中止

・川田順一氏・小林照雄氏・前田梨紗氏・斉藤千紗氏
(うわまち)、田島尚人氏(市民)、原正樹氏(浦賀)の
入会原簿受理。4月1日付入会とする。

4/29・平成 22 年度横須賀三浦放射線技師会第1回
三役会開催の案内を役員宛メール配信

・平成 22 年度横須賀三浦放射線技師会第1回理事
会開催の案内を役員宛メール配信 & WEB 配信

・総会報告をWEB掲載

5/2・横須賀市救急医療センターへの本会技師派遣
依頼状発送(横須賀共済、衣笠、神奈川みなみ医療
生協)

・本会理事委嘱依頼状を横須賀市立市民病院へ送
付(学術:加々美氏、福利厚生:福重氏)

5/9・第1回三役会を横須賀共済病院にて開催

・本会理事委嘱依頼状、本会理事委嘱状を衣笠病院
へ送付(副会長:松村氏)

・本会理事委嘱状を横須賀市立市民病院へ送付(学
術:加々美氏、福利厚生:福重氏)

5/12・第1回理事会を横須賀共済病院にて開催

・天野奈津子氏(南共済)の入会原簿受理。4月1日付
入会処理とする。

・県技第1回地区委員会開催(高橋理事)

5/20・県技第1回災害対策委員会(濱田理事、相ヶ
瀬氏、県技事務所)

5/26・第1回救急センター連絡会議を横須賀共済病
院にて開催

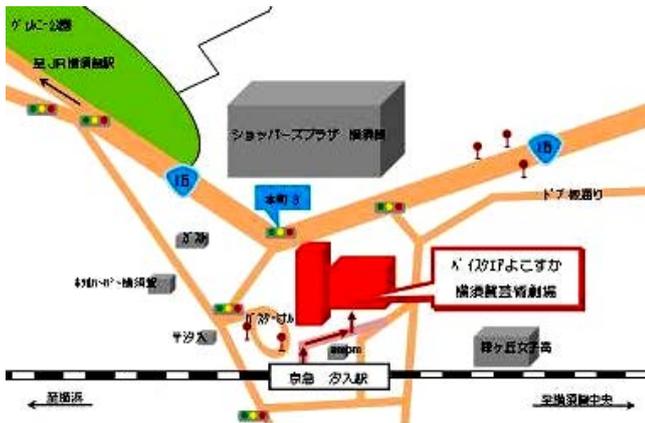
6/12・第108回横須賀三浦放射線技師会研究会 & 三
部合同納涼会開催の案内を役員宛メール配信

6/13・第2回三役会および理事会開催の案内を役員
宛メール配信

会員数 148名、賛助会員数 21社

学術より 第108回横須賀三浦放射線技師会 研究会のお知らせ

日時 : 2010年7月9日(土)
14:30~17:00 (14:10開場)
会場 : 産業交流プラザ 第一研修室
交通アクセス
〒238-0041 神奈川県横須賀市本町 3-27
ベイスクエアよこすか一番館 3階
(横須賀市産業交流プラザ内)
(財)横須賀市産業振興財団
Tel:046-828-1631 Fax:046-821-1207



京浜急行 汐入駅より徒歩1分
JR横須賀線 横須賀駅より徒歩8分

プログラム

1.胃X線画像の読影ポイント

「新撮影法改定版(2011)発刊に際して」

神奈川県労働衛生福祉協会 今村 清子先生

2.東日本大震災～福島県災害派遣報告～

横須賀共済病院中央放射線科 沼田 恭一先生

福利厚生より 三部合同納涼会のお知らせ

会員・賛助会員各位

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より福利厚生活動に対しご参加ご協力いただき感謝申し上げます。さて、今年も恒例の三部納涼会を下記の要領にて開催いたしますので、ご多用のこととは存じますが、皆様の多数の参加をお待ちしています。

日時 : 平成23年7月9日(土)
17時30分～
場所 : 横須賀中央モアーズシティ9階
アロハテーブル



会費 : 3,000円
〆切 : 平成23年7月5日まで
事務局または福利厚生まで連絡ください。

事務局 代表 濱田(横須賀共済病院)
TEL 046-822-2710 内線 2310
Mail ymart001@ymart.jp
福利厚生 代表 小笠原(横浜南共済病院)
Mail fukuri001@ymart.jp

当日キャンセル、当日参加は受付できませんのでご注意ください。

会費納入のお願い(会計担当)

拝啓 向夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝の事と存じます。平素より当会への活動にご助力いただきましてまことに有難うございます。

つきましては、今年度も本会の主旨にご賛同いただきまして、会費・賛助会費の納入をお願い申し上げます。下記銀行口座にお振込みいただくか、直接会計担当者まで納入いただきますようお願い申し上げます。

なお、銀行振り込みの場合は振込後事務局までご一報くだされば幸いです。また、請求書が入り用の場合は、お手数ですが会計担当まで御連絡ください。

敬具

横浜銀行 衣笠支店

普 通 1364750

口座名義 横須賀三浦放射線技師会

新任理事紹介

横須賀市立横須賀市民病院の**福重智也**です。この度**福利厚生理事**になりました。入社してまだ2年目で分からないことが沢山ですが、地元人間として横三技師会に貢献出来るよう、若さと体力を生かして精一杯頑張っていくのでよろしくお願いします。



WELCOME NEW FACE

横須賀市立市民病院

今年の4月に同じ協会の共立湊病院から異動してきました**田島尚人**といます。生まれも育ちも神奈川で毎日、横浜から通ってます。まだまだ放射線技師としては知識・技術ともに不足しておりますので横須賀三浦放射線技師会の皆さまには迷惑をかけてしまう事もあると思いますが、これからご指導の程、よろしくお願いします。



横須賀共済病院

初めまして。この度、横須賀三浦放射線技師会に入会させていただくことになりました横須賀共済病院、診療放射線技師の**照井裕介**と申します。出身は横浜で、今年、北里大学を卒業しこちらへ勤めることになりました。趣味はスポーツで、体を動かすことが好きです。社会人一年目でまだまだ未熟者ですが、持ち前の体力を活かして、早く一人前の技師として



活躍できるよう日々精進していきたいと思っております。今後ともご指導の程よろしくお願いします。



初めまして。今年度から横須賀共済病院で放射線技師として働くことになった**手島祥吾**です。私は、まだまだ技師として半人前なので横須賀三浦技師会で開催される講演会や勉強会に積極的に参加して、先輩の技師さん達の様々な知識や培ってきた経験を吸収していき、患者様から信頼される一人前の放射線技師になりたいと思っております。

金沢病院 去年の4月から金沢病院で働かせていただいている**木下翔**です。大勢でワイワイするのが大好きな横須賀人です。昼休みはだいたい寝てしまいます。こんな僕ですが技師歴は2年目でまだまだ分からないことだらけなので、ご指導のほどお願いします。みなさんと仲良くやっていきたいのでこれからよろしくお願いします。

横須賀市立うわまち病院

初めまして、横須賀市立うわまち病院の診療放射線技師の**小林輝雄**です。出身は茨城県牛久市、趣味はサッカー観戦です。初めての一人暮らし、病院での日々の業務など慣れないことが多く悪戦苦闘している毎日ですが、少しでも早く技術を身につけ、経験を積み、一人前の診療放射線技師になれるよう努力していきたいと思っています。よろしくお願いします。

はじめまして。横須賀市立うわまち病院に就職した、診療放射線技師の**前田梨紗**です。出身地は神奈川県横浜市で、出身大学は北里大学です。少しだけですがバスケットとバレーボールの経験があるくらい身体を動かすことが好きですが、最近スポーツは観る専門です。まだまだ未熟で、ご迷惑をかけるかと思いますが、早く一人前の技師になれるよう精一杯努力いたしますので、よろしくお願いします。

横須賀三浦放射線技師会の皆様、はじめまして。私は、昨年8月から横須賀市立うわまち病院にて診療放射線技師として働かせて頂いている**川田順一**と申します。技師歴5年目でまだまだ技量が足りませんが精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

はじめまして、横須賀市立うわまち病院の**齋藤千紗**です。昨年の7月に入職し、1年経ちました。出身は群馬県前橋市です。前橋は夏はすごく暑く、冬はすごく寒いので、横須賀は過ごしやすい気候だと思いました。趣味はゴルフです。と言いながら、だいた行っていなかったの、最近また練習から始めました。早くまたコースに出たいです。よろしくお願いします。



横浜南共済病院

ご縁がありまして、昨年11月から横浜南共済病院でお世話になっております**天野奈津子**です。南共済病院はとても忙しい施設ですが、先輩たちも優しく接して下さるので、楽しく仕事をさせていただいております。

頼もしい?大きな息子(フラットコードットレトリバー)と1人1匹暮らしです。

神奈川県下の仲間達と『湘南乳腺フォーラム』というマンモの勉強会も開催していますので、ご興味のある方は是非一度遊びにいらしてください!!

今後勉強会等に参加させていただくと思っておりますので、宜しくお願い致します。

ハネムーン旅行記

よくばり大周遊ロマンチック街道と東部ドイツの旅

誠に光栄ながらハネムーン旅行記の報告依頼を賜りましたので、ハネムーン旅行記「よくばり大周遊 ロマンチック街道と東部ドイツ」の旅を報告させていただきます。

ハネムーン出発前日、韓国以外の海外に行った事のない私は初のドイツ進出という快挙を目前に気分はすでにドルトムントの香川やシャルケの内田のようだった。「明日は朝4時という早い時間の出発だから早く寝なくては」、しかし、ドキドキ、ワクワクして眠れない！！よしこうなったら寝酒だ！……ZZZ。やってしまった寝坊だ！！しかも二日酔い、急いで仕度をし成田空港に向かう。成田空港行きのリムジンバスの中で熟睡。こうして慌ただしいハネムーン旅行出発当日を迎え、初のヨーロッパ進出というドキドキ感を味わう事もなくハネムーン旅行の幕があけたのだった。

成田空港に到着し出発を待ち、いよいよ搭乗が始まった。航空機に乗り込む、航空機の広さに驚いた。本当にこんなに座席を積んだ鉄の塊が空を飛ぶのか？とりあえず、気分を落ち着かせ席に着く。さあ、いよいよ母国日本を離れる時が来た。ドイツまで11時間という長時間のフライト。とりあえず、座席で地球の歩き方というガイドブックを読んで、ドイツ語を勉強した。

長時間のフライトを終え、ベルリンに到着。空港にて早速、ドイツといえばフランクフルトという事で購入を試みた。覚えたてのドイツ語でフランクフルトを指差す。「アイン ダス ピッテ！」するとちゃんとフランクフルトが出てきた。言葉が通じた！！感激にフランクフルトの味はより一層美味しく感じた。その後バスに乗り込み、宿泊するホテルへと向かった。ホテル到着後、初日に夕飯が付いてなかったので奥さんと二人で夕飯を食べにでかけた。しかし、ホテル周辺を探してもろくな食べ物屋がない。結局、初日の夕食はホテル近くでケバブを食べた。何で初ドイツ初日の夕食がトルコ料理なんだ！何でドイツ人と写真を撮る前に私はトルコ人と肩を組んで写真を撮っているんだ！と、自分を責めとりあえず、ビールを飲んだ。そんなドイツ初日だった。ちなみに、夏のドイツは21時になっても太陽が沈まない。22時過ぎ位からあたりがだんだん暗くなってきた。ドイツって日が長いんだなって感心した。しかし、逆に冬の間は16時位から真っ暗になるそうだ。

二日目。ポツダム会談の場として知られるツェツィリエンホーフ宮殿やサンサーシー宮殿の庭園、ベルリン市内を訪れた。ポツダム会談が行われた会議室は今もそのまま残っており、アメリカ、イギリス、ソ連の国旗が机の上に立っていた。ここで、第二次世界大戦後の日本の行く末が決められたんだなーと感慨深いものだった。またベルリンの壁も見学し、その壁の長ささに圧倒された。あまり長く書くと、この旅行記がかなりの超大作になってしまい、映画化されるのではと不安になったので二日目はこの

へんで終わりにしておこう。そして、三日目からは要点だけ書くことにしよう。



三日目はフラウエン教会やラファエロの名作「システーナの Madonna」のあるツピンガー宮殿内絵画館、君主の行列の壁画を見た。その後、マイセン陶磁器工房を観光し母へのお土産としてマイセン陶磁器を購入。130ユーロとちょい高めだった。

四日目はルードウィヒ 2 世が 17 年の歳月と巨額の費用をつぎ込んだノイシュバンシュタイン城を見学。内装の豪華さに感動した。

五日目はロマンチック街道を代表する中世の街ロートンブルクにて散策。

六日目はハイデルベルク城見学や古城の点在するライン川沿いの風景をクルーズして楽しんだ。その後、フランクフルトに移動し市内観光に出かけたがフランクフルト市民マラソンに巻き込まれた。交通規制を避け進んで行くと公園に辿り着いた。しまった！気が付くと、背の高いゲルマン人達に囲まれていた。この公園は市民マラソンのスタート地点だったらしく通り抜けるのに苦労した。

7日目。今日は日本に帰国する日。フランクフルト空港で没収されたチーズとドイツの街並みに別れをつけ日本へと飛び立った。10時間後、ドイツとは明らかに違う街並みを目のあたりにする。千葉上空か…。私は日本に帰って来たんだなと実感した。成田空港で早速、ラーメンを食べた。日本ってご飯がおいしいなと改めて感じた。



こうしてハネムーン旅行の幕は閉じた。色々、盛り沢山で書ききれず途中、かなり省略してしまった事をお詫び申し上げたい、しかし、決して手を抜いたのではない！書ききれなかったのである。

災害派遣報告

横須賀市保健所 NAS チーム 井上 晴行

厚労省より、福島第1原発事故に伴い、避難住民に対する健康チェック等のための放射線技師派遣の要請が、横須賀市にありました。

この要請を受けて、横須賀市では、5月16日から10日間、計4名の放射線技師を福島に派遣しました。(第1班・2名・5月16日～21日、第2班・2名・5月21日～26日) そのうち、第2班として5月21日より5日間、福島で活動してきましたので、報告します。

まず、活動内容ですが、福島県で決められているスクリーニング会場で、近隣住民のスクリーニングや健康相談、又、公的な目的で20k圏内に立ち入られた人のスクリーニング検査などを中心に活動しました。

活動場所は、第1班が、県北保険事務所、川俣町体育館、郡山市総合体育館の3カ所。第2班が、川俣町体育館の1カ所です。人数は、9日間で計532名のスクリーニングを行いました。そのうち、スクリーニングレベル(100000cpm)を超えた人はいませんでした。

事故から2カ月経っていることもあり、1日平均すると60名程度でした。割と時間をかけて、サーベイすることができましたが、健康相談や、放射線に対する不安などを口にする人が多く見受けられましたので、相談に時間をかけるようにしました。

サーベイは、1人3分程度は時間をかけられたので、NASチーム推奨のセグメント法を活用することができました。ただ、カウントが、手の指や靴の底で高くなる傾向があったので、今後セグメント法に取り入れていけたらと思います。

その他、住民の要望で、野菜や車なども計測しました。車は20k圏内から持ち出されたものを中心に計りましたが、70000cpmを超える車があるなど、汚染されている車が何台も見受けられました。このことから、屋外に置かれているものは、場所によって汚染されているものが多いことが予想されます。

スクリーニング会場の空間線量は、地上1mの高さで、平均すると1.4 μ Sv/h程度でした。ただ、場所によって、数値が変化し、1番高いポイントでは、地表面で、20 μ /h程度を示す所もありました。同じ地域でも風向きや水の溜まりやすい場所で線量が変化するようにです。

今回は、福島で様々な体験をしてきました。現地で、得た知識を横須賀三浦地区でも活かせるよう、今後も活動していきたいと思っています。



編集長のコーナー

109号編集長の濱田@横須賀共済です。今回の福島第1原発事故災害派遣に私も日放技のサーベイヤーとして参加してきましたので、簡単にご報告を。

【概要】

1. 参加派遣チーム: JART 第1次派遣隊(12名)
2. 派遣期間および場所: 平成23年3月16日～21日(21日は帰路移動日) 福島県郡山市内、同田村市内の常設スクリーニング会場および避難所
3. 派遣目的: 福島第1原子力発電所の事故により放射性物質に汚染された可能性のある住民のスクリーニングサーベイを行う。
4. 活動内容: 12人1チーム、5日間の活動でのべ16箇所、のべ5021人の住民に対しスクリーニング作業を行った。

【所感】

特に郡山の常設会場では、福島県放射線技師会会員の方、郡山保健所の方々とともに24時間のローテーションの一部を担い、短期間ではあったが現地会場運営の助力となったと思っております。

私自身、初めての災害派遣、ボランティア活動への参加であり、原発事故の状況ははっきりしない中での参加は、不安で押しつぶされそうにもなりましたが、さまざまな方々のお骨折りのお陰で、体調も崩さず任務を全うできました。また、報道でしか見たことの無かった、辛い避難所生活を送る方々を現実に目の前にし、思わず涙そうになる場面もありましたが、少しでも被災者の方々の役に立ちたいという、自分自身の心の底から湧き出る強い思いを感じることが出来ました。

災害対策本部自体の情報掌握が不十分で翌日の活動予定会場が決まらなかったり、あらゆる場面で混乱がありました。我々自身がその場で出来ることを前面に出し、進言し、やりくりすることで常に上質の活動が出来たと思えました。災害現場は常に混乱しており、自ら考えて動くことも時として重要であることを学びました。

今回の活動で、我々がNASチームで日ごろから学習と訓練を重ねてきたことが、実際に原子力災害時に役立つのだという証明が出来たと思っております。スクリーニングの技術、被ばく線量を説明する知識、この両方を兼ね備えた唯一の職業が、我々診療放射線技師なのですから、皆さんも自信を持っていただきたいところです。

今回のチーム12名のうち、NASチームから児玉氏(うわまち)、三嶋氏(湘南)、私の3名が参加していた事、大変誇らしく思いました。NASチーム恐るべし!世のため、人のため、国のため、いろいろな思いに繋がる、非常に貴重な体験が出来たと思っております。すべてに感謝!

NO.109 Vol.35-No.1 JUN.2011 横須賀三浦放射線技師会会報
2011年6月28日発行 編集/発行/印刷/製本 広報部
広報担当 濱田順爾(横須賀共済病院)、安藤悦夫(逗葉地域医療センター)
久保隆(三浦市立病院)